

ID: I1807

<p>助成受給団体名</p>	<p>こうえきしゃだんほうじん いわてけんぼうはんきょうかいれんごうかい 公益社団法人 岩手県防犯協会連合会</p>
<p>実施期間</p>	<p>2018 年 8 月 1 日 ～ 2019 年 3 月 31 日</p>
<p>実施した事業の内容</p> <p>○当法人の平成30年度予算においては、寄附金及び助成金として371万円の予算を計上して事業の推進を図ることとしていたところであるが、事務所の賃借料として50万円の助成を受け、事業運営資金に繰り入れて、公益目的事業である「安全安心まちづくり事業」の推進を図った。</p> <p>安全安心まちづくり事業は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域安全大会の開催 ・ 少年柔道・剣道大会の開催 ・ わたしの主張岩手県大会の開催 ・ 地域安全運動ポスター・標語コンクールの開催 ・ 広報紙「防犯いわて」の発行事業 ・ 各種の広報啓発活動(県下の新入学児童に対する「イカのおすし下敷き」の配布、県内の路線バスにおける特殊詐欺被害防止等のポスターの掲出。また、無施錠被害率が高い本県の現状から、鍵かけ運動へのチラシの作成及びティッシュペーパー等の配布等) ・ 防犯ボランティア等防犯功労者の表彰 <p>などの地域安全活動を実施した。</p> <p>地域安全活動の中でも、特に、特殊詐欺による被害を防止するため、県内の路線バス全車内にポスターを掲出するとともに、盛岡市内の路線バス車内においては車内放送により、特殊詐欺被害防止を呼びかけるなど、各種の広報啓発活動を強力に実施した。</p> <p>◎平成29年度の経常収益は前年比6万円余の増収となり、広報啓発費の予算額 475万円に対し、予算額をわずかに上回る、11万円増の486万円余を支出し、ニーズに即した効果的な広報啓発活動の推進を図った。</p>	
<p>今後の課題</p> <p>○当法人は、公益社団法人移行6年目を迎え、さらなる充実した公益事業の推進、また、これまで以上に堅実な事業及び法人運営に努めている。</p> <p>しかしながら、被災後における賛助会員の減少などによる会費の減収など、未だに減収要素は改善されず、法人活動の財源となる会費の増収が見込めない状況にあること、また、事業収益についても増収が見込まれないことなどから、依然として厳しい財政状況となっている。</p> <p>このようなことから、さらに事業の見直し、経費の削減等を実施し、予算の有効活用に努めているところである。</p> <p>特に、賃借料については、平成25年度から値下げ交渉により若干の経費の削減が図られるなど、今後とも堅実な事業運営と財政基盤の確保等に努めることとしている。</p>	